

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

福智町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県田川郡福智町

3 地域再生計画の区域

福岡県田川郡福智町の全域

4 地域再生計画の目標

福智町の人口は、昭和 30 年の 42,257 人をピークに減少を続け、平成 27 年の国勢調査人口では 2 万 3 千人を割り込む 22,871 人、令和 2 年 9 月現在における住民基本台帳による人口は 22,414 人となっており、近年はピーク時に比べほぼ半減している状況にある。平成 27 年国勢調査における 65 歳以上の高齢者人口は 7,479 人で、人口に占める割合（高齢化率）は 32.7%と過去最高を記録し、空前の速度で高齢化が進んでいる。また、15 歳未満の年少人口は平成 7 年（1995）に、老年人口に逆転され、以降減少の一途をたどっており、平成 27 年国勢調査における年少人口は 3,010 人となっている。

合計特殊出生率は平成 10～14 年に最低の 1.57 となったが、平成 20～24 年には 1.62 まで上昇した。一方、年間出生数は平成 22 年に初めて 200 人を割り込み、平成 30 年には 160 人にまで減少している。なお、死亡者数は平成 30 年（2018）で 351 人、直近 10 年間の年間平均は約 356 人で推移しており、平成 30 年は 191 人の自然減となっている。

社会動態について、町への転入者数は、直近 10 年間の年間平均では約 765 人、転出者数の年間平均は約 885 人で推移しており、平成 30 年は 53 人の社会減となっている。

福智町の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の 2018 年推計人口によると、令和 27 年には 12,542 人にまで落ち込む推計も示されており、人口減少に歯止めがか

からず、少子高齢化は深刻な状況に直面している。

人口減少の進展により消費市場の規模縮小だけでなく、町勢の低下と景気低迷を生み出しつつある。こうした地域経済の縮小は、福智町の生産力と住民の経済力低下につながり、高齢化の進展もあいまって、地域社会の様々な基盤の維持を困難としている。

これらの課題に対応するため、本計画において、次の基本目標を掲げ、人口流出の抑制をはじめ、就労・結婚・出産子育ての希望の実現や地域の特性に即した課題解決等に資するとともに、町民と問題意識を共有しながら、人口減少克服と成長力確保に向け一体的に取り組んでいく。

基本目標 1 福智町にしごとをつくり、安心して働けるようにする。

基本目標 2 福智町への新しい人の流れをつくる。

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

基本目標 4 誰もが安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる。

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規就業者数	—	200人	基本目標 1
	創業事業所数	2事業所	10事業所	
	事業創出売上額	—	15億円 (5か年計)	
イ	創出観光入込客数	23.6万人	120万人以上	基本目標 2
	シンボルイベント経済効果額	0.3億円	1億円 (5か年計)	
ウ	合計特殊出生率	1.598	1.7	基本目標 3
エ	全国学力・学習状況調査において正答率 40%未満の割合	34.4%	25%以下	基本目標 4
	高齢者の要介護認定率	21.9%	20%以下	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

福智町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア しごとをつくり、安心して働ける事業

イ 新しい人の流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 誰もが安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる事業

② 事業の内容

ア しごとをつくり、安心して働ける事業

地域ブランド化につながる特産品開発や販路開拓の支援をはじめ、公共施設の有効利活用や企業誘致による創業・雇用の創出を推進するなど、民間活力を生かしながら、観光促進や住環境整備等を含めた持続可能な地域活性化に取り組む。

【具体的な事業】

- ・新たな産品開発の支援
- ・民間企業と連携した観光促進や住環境整備
- ・農業後継者対策や営農継承の円滑化、新規就農・若手営農者の育成
- ・民間企業の誘致促進 等

イ 新しい人の流れをつくる事業

地域資源を活用した事業の企画・実施や企業・自治体間連携による観光産業への集客増による地域経済の活性化等を推進していくほか、効果的なタウンプロモーションによる交流人口や関係人口の創出・拡大を図り、定住人口の増加へと結びつける。

【具体的な事業】

- ・平成筑豊鉄道を活かした地方創生事業の企画推進
- ・「福智スイーツ大茶会」を活かしたまちづくりの推進
- ・地域資源を活用した観光ルート化の振興
- ・企業連携や広域連携の取組等による交流・関係人口の創出・拡大 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

誰もが夢を持ち、希望どおり結婚し、子どもを生き育てられるような、経済的安定に結び付く観光整備を推進するとともに、結婚から子育てまで継続的な切れ目のないサポートを行い、移住・定住の促進を図る取組みを推進し、支援制度を確立する。

【具体的な事業】

- ・若年層の就業・定住支援、Uターンの推進
- ・空き家バンクや定住促進事業等による空き家問題の解決と定住促進の両立
- ・制度面や財政面などの現状に合わせた効果的かつ柔軟な子育て支援策改変の推進 等

エ 誰もが安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる事業

地域との連携を強化し、特色ある取組み充実による小・中学生の確かな学力の定着と向上を図るとともに、健康寿命を育む「福祉のまち福智」として独自性かつ先進性の高い地域での支え合い体制づくりの実現を図る。

また、住民の貴重な移動手段である公共交通を確保するため、将来にわたって持続可能な地域公共交通網の再構築に取り組む。

【具体的な事業】

- ・地域と学校の連携・協働体制構築事業の推進
- ・ICT機器整備等による学習環境整備の推進
- ・認知症の対策支援、地区公民館活動活性化による地域住民の連携強化と地域づくりの推進
- ・多様なニーズに応える新たな公共交通体系の構築 等

※なお、詳細は福智町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

350,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年5月に外部有識者で構成する「福智町地方創生推進委員会」による効果検証を行ったうえで、今後の取組方針を決定するものとし、検証後速やかに福智町公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画認定の日から2025年3月31日まで